



Commentary Unit Mission

NEP オーストラリアは、10か所のコントロールルーム、14台の中継トラックを備え、オーストラリア国内70か所の会場から運営を行っているオーストラリア最大の野外放送ファシリテーターです。また、IPテクノロジーを最初に採用した企業の1つとして、柔軟性とルーティング性が必要な非常に大規模なネットワークで動作できる機器を持つことの重要性を身をもって知っています。

MergingのZMAN(Anubis内蔵のプロセッサボード)をRAVENNA/AES67コネクションとして使用したOEM製品を使用した経験により、NEPのMichael Saliba氏は、ネイティブIPコメンタリーユニット・ソリューションの可能性としてMERGING+ANUBISに着目しました。Anubisは、デスクトップの設置面積が小さく、整った外観のタッチスクリーン・デバイスで、コメンテーターやアナウンサーが使用するのに役立ちそうないくつかの機能がすでに搭載されていました。ユニットの貸し出しにより、Monitor Missionに十分な機能が備わっていることを確認しましたが、若干の変更を加えれば、他のコメンタリーユニットにはないST2110とNMOSの互換性がもたらされると判断しました。

もう一つの大きな利点は、オンボード・ダイナミクス、イコライゼーション、DIMをトリガーする機能など、Anubis内の機能であり、オーディオ・コンソールやインターコム・システムなどの他のハードウェアを介してコメンタリーをルーティングする必要がないことも分かりました。Anubisはこの環境に適しているだけでなく、NEPグループの施設で数年間使用されていた製品ですので、既にユニットの安定性が検証できており、AnubisをNEPネットワークに統合するためのソフトウェアを持っていることを意味します。

Merging社への詳細な製品提案を行うアプローチにより、ほぼすべての条件を満たしたベータ版の開発が行われました。プロジェクトを完了し、全豪オープンテニスに間に合うように十分な数のユニットが提供されました。

Merging社では、全豪オープンテニスまでという過密なスケジュールのため、Commentary Unitの導入案についてはその日の遅くまでクライアントと話し合うことができませんでした。代替案が提供されていましたが、デモンストレーションはトレーニングを支援するためにエンジニアリング・サポートチームに近い場所で行われましたが、ユニットの操作は非常に簡単で、解説者はすぐに快適に使用することができました。

Michael Saliba氏は、NEPで20年以上勤務した経験を持つ一流のオーディオおよび通信エンジニアであり、ネイティブ2110 IP施設がその約束を果たすために必要な先駆的な取り組みの最前線で活躍してきました。「私たちは多くのサプライヤーと緊密に連携して、プロジェクトの仕様に合わせて製品を修正しており、多くの場合、自ら革新して新製品を開発しています。Merging社は喜んで話を聞いてくれて、とても丁寧に対応してくれました。彼らがベータ版として作成したものは、ブロードキャスト対応に非常に近く、わずかな調整しか必要とませんでした。私にとって大きな利点の1つは、Anubisへのリモートアクセスを可能にするWeb UIです。最近では私たちは 解説者と違う場所にいることが多いため、これは非常に重要です。追加機能の可能性とその柔軟性により、現在提供されているものをはるかに超える可能性があり、私たちは Mergingとこれらのアイデアを開発し続けています。」

全豪オープンテニスが終了して以来、Commentary Unitはプレシーズン・フットボールの試合に配備されており、2022年末までにすべてのNEPオーストラリアのネイティブIP施設をアップグレードする展開が計画されています。



このプロジェクトで Michael Saliba氏と協力したMergingのソフトウェア責任者であるDominique Brulhart氏は以下の様に付け加えました。

「マイケルと彼のチームと仕事ができ本当にうれしかったです。彼らは私たちに本当に優れた製品の定義を与え、ネットワーク環境での目的に適したCommentary Unitの要件を説明してくれました。Anubisがこれらの権威あるスポーツイベントですでに使用されているという事実は、私たちにとって大きな信頼を寄せるものです。私たちは、彼らの経験と将来に対するビジョンに基づいて、他のユニークな機能を実現することを楽しみにしています。」

MERGING+ANUBISコメンタリー・ミッションの発売は、2022年4月のNABショーに合わせて開始される予定です。





[NEPグループ](#)は、世界中のコンテンツクリエイターにとって主要なテクノロジー・パートナーです。35年以上にわたり、クライアントがいつでも、どこでも、どのプラットフォームでもコンテンツを作成、管理し、世界に公開できるようにする革新的な製品とサービスを提供してきました。NEPは、世界最大級の制作に取り組む信頼できるパートナーとして、コンテンツのキャプチャから配信まで、革新的なクラウドベース、ソフトウェアベース、仮想化テクノロジーのポートフォリオを拡大するエンドツーエンドのソリューションの完全なセットを提供しています。当社のライブプロダクション・ソリューションは、AVサービスやライブ視聴者の強化から、従来の屋外ブロードキャストや最先端の集中型およびクラウド・プロダクションまで多岐にわたります。NEPのバーチャルプロダクション・ソリューションは、クリエイティブな段階から始まり、ICVFX、拡張現実、LEDステージなどにわたる優れた実行で終わります。また、メディア処理ソリューションは、クライアントがデジタル資産を取り込み、編集、保存、検索、管理し、複数のプラットフォームにわたる権利所有者に配布するために必要なツールと製品を提供します。

NEPは米国に本社を置き、25か国で事業を展開し、従業員数は4,000名を超えています。NEPは力を合わせて、7大陸すべての100か国以上の作品をサポートしてきましたが、今も成長を続けています。NEPのクライアントは、スポーツ、音楽、映画、テレビのリーダーから、大手企業ブランド、代理店、そして世界中の新しいコンテンツオーナーやクリエイターまで多岐にわたります。クライアントが創造的なビジョン、コンテンツ、ライブスポーツ、エンターテインメントを実現できるよう、[NEPグループ](#)がどのように支援しているか、リンクをクリックしてご覧ください。



April 2022